

法人連携による生活困窮者等への食の支援



取組みの経緯

みその児童福祉会が運営する児童家庭支援センター米子みその（以下、センター）では、子育て世帯などから様々な相談を受け、関係機関と連携をとりながら、訪問などにより支援を行っています。そのなかで生活に困窮し、特に食に困っている世帯に関わることが多くなっています。

生活困窮に関する相談に対しては、必要な制度・関係機関につないだり、子ども食堂やフードバンクなどについて情報提供をするなど、連携をとりながら支援をしていますが、制度等につながっても、その日の食料に困ってしまう方もいます。

こうした方々に対して、法人として何かできる事はないかと考え、米子市内で展開している「なんでも相談ダイヤル」（※）で連携している社会福祉法人（こうほうえん・養和会・みその児童福祉会）や相談支援機関が情報共有する場において困窮世帯の状況等を情報提供したところ、社会福祉法人養和会が運営する就労継続支援B型事業所「あんず・あぶりこ CAFE&BAKERY APLICCO」（以下、アプリコ）から冷凍パンの提供がいただけることとなり、2年ほど前から、連携を取りながら困窮世帯等にお届けしています。

取組み内容

週に1度、アプリコから冷凍パンの提供をいただき、定期的に訪問している世帯やセンターに来所された方に提供しています。売れゆきの状況によるため、提供できる量は限られていますが、少しでも食の面での支援ができればと思い、継続して行っています。

取組みの成果

- ・パンをお届けすることをきっかけに、日頃のちょっとした困りごとなども話してくれるようになり、相談しやすい関係づくりにつながっています。
- ・パンを製造・販売している障がい者支援の事業所についても知っていただく機会となっています。
- ・制度等を利用してもしなお食に困っている方にとって、必要な社会資源となっています。

○活動データ

- ・実施頻度：週1回
- ・取組みに関わる人員：職員
- ・取組みに関わる主な経費：特になし

※なんでも相談ダイヤル

米子市内の高齢・障がい・児童の各分野の施設を運営する社会福祉法人が連携して、電話による相談受付を行い、必要に応じて専門機関につないでいます。月に一度各法人や相談支援機関等が集まり、受付けた相談内容等について情報共有しています。

活動者コメント

パンをお届けするととても喜ばれ、わずかではありますが、自立に向けた一助となっていることを実感しています。今後も引き続き関係機関等と連携を取りながら、法人としてできる支援を行っていきます。

利用者の声

- ・パンがとてもおいしくて、子どもがいつも喜んでいきます。
- ・生活が苦しく子どもが朝食を食べられないことが多かったので、とても助かりました。ありがたいです。

社会福祉法人 **みその児童福祉会**

本部所在地／岡山県北区天神町6-34

米子支部／米子市上後藤4-2-36

電話番号／0859-29-4364

FAX 番号／0859-29-3155

法人HP／<https://misonotenshien.com/>

他に実施している公益的取組み：

地域の子どもの発達相談への職員派遣、地域との交流、
育児サロン、子育てサークル、園庭開放、児童虐待防止啓発活動、子育て講演会

